

令和 7 年度

運営に関する計画

大阪市立横堤小学校

令和7年度 運営に関する計画

【学校経営の重点】

- ◇ 生きる力・夢みる力の育成
— かしこく やさしく たくましく —

【本市の教育における最重要目標】

- (1) 安全・安心な教育の推進
- (2) 未来を切り拓く学力・体力の向上
- (3) 学びを支える教育環境の充実

【本校の教育目標】(校訓)

- ◇ よく考える子
- ◇ たくましい子
- ◇ 思いやりのある子

《具体的方策》

- 1 基礎的・基本的な内容の確実な定着と、児童の活発な意見をもとにした学習活動を充実し、自ら考え、意欲的に解決する力を育む
- 2 豊かな体験的活動を通して、個性を尊重し、互いに認めあう集団の育成を図り、思いやる心や感動する心を育む
- 3 自らの健康や体力に关心をもち、健康でたくましい心身を養い、自律的な生活習慣や態度を育む
- 4 今日的課題に対応する教育を充実させ、自らの判断で、生きるべき道を選択し、決定するとともに、社会の変化に的確に対応できる力を育む
- 5 地域・保護者の学校支援体制を構築し、家庭や地域の教育力を活かした教育活動を進めるなかで、地域の伝統行事への積極的な参加とともに、地域の一員である自覚と感謝する心を育む

《めざす児童像～3つの“C”～》

- ◇ 進んで学ぶ子ども (Challenge)
- ◇ なかよく助け合う子ども (Communication)
- ◇ 明るく元気な子ども (Cheerful)

大阪市立横堤小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価

1. 学校運営の現状と課題

【現状】

本校では、年度ごとに全国学力・学習状況調査等、各種調査及び学校評価アンケート（保護者・児童）における調査結果の分析を踏まえ、横堤小学校「学校教育改善アクションプラン」を策定し、教育活動を進めている。今年度も 2 つの「きょういく」（共育・響育）をテーマに、「確かな学力の向上」・「豊かな心の育成」・「体力の向上」に取り組んでいく。（2025 年度「横堤小学校 学校教育改善アクションプラン」 参照）

学力経年調査では、大阪市平均と本校との標準化得点のポイント差は、以下の通りであった。

	国語	社会	算数	理科	英語
3 年生	-0.2	+2.0	+1.0	+2.0	△
4 年生	-1.0	+2.0	-1.5	+1.0	△
5 年生	-1.8	-0.2	-0.1	+2.0	+2.0
6 年生	±0	+1.0	-1.9	+1.0	+1.0

平均正答率については概ね大阪市平均を上回っているものの、それぞれの学年において教科によっては、大阪市平均を下回った。また、4 年生の国語と算数、5 年生の国語、6 年生の算数においては標準化得点ポイントの差がマイナス 1 ポイント以上あった。

全国体力・運動能力、運動習慣等調査（5 年生対象）の結果では、本市の指標の 1 つとなっている体力合計点が、男女ともに大阪市平均は上回り、男子は全国平均も上回り、女子は 0.11 ポイントだけ下回った。（学校平均/全国平均 男子：53.65/52.53 女子：53.81/53.92）

5 年生	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン	50m 走	立ち 幅とび	ソフトボール 投げ	体力 合計点
男子	17.90	18.43	33.00	41.39	55.10	9.66	148.96	20.52	53.65
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	16.98	17.76	36.37	38.78	40.31	10.02	143.05	11.98	53.81
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

【課題】

学力向上の取り組みについては、経年調査の結果や昨年度末に行われた『大阪市教育振興基本計画にかかるアンケート調査』の結果から、4, 5, 6 年生の高学年では「勉強が難しい」と感じている児童が、低学年に比べて 2 倍以上の回答があった。この課題に対して、低学年の中に培った基礎学力を土台に、高学年ではさらに定着を図る必要がある。

体力向上の取り組みとしては、結果をもとに年間を通して「横堤グランドスラムチャレンジカード」の活用と改善を行い、児童の体力向上に努める必要がある。

各種アンケート結果から、「児童の自尊感情・自己有用感」の項目が他の項目よりも低いことがわかる。そのため、今年度も引き続き「2 つのきょういく『共育』（共に学び育む教育）『響育』（心に響く教育）」を本校の教育方針として、来年度以降の『横堤小学校 学校教育改善アクションプラン』を策定していきたい。

2. 学校運営の中期目標とその達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

中期目標

- ・令和7年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を95%以上にする。

年度目標

- 学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。

(R6・・・72.6%)

- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。

(R6・・・9/559 1.61%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

中期目標

- ・令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、全項目の平均の記録を、令和4年度より0.3ポイント向上させる。(R4・・・男子52.52 女子54.64)

年度目標

- 学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を38%以上にする。(R6・・・37.5%)

- 学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を62%以上にする。

(R6・・・61.0%)

- 学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を79%以上にする。

(R6・・・77.9%)

【学びを支える教育環境の充実】

中期目標

【I C Tの活用に関する目標を設定する】

- ・授業日において、児童生徒の8割が協働学習支援ツールを用いた学習を週1回実施する。

【教職員の働き方改革に関する目標を設定する】

- ・ゆとりの日を週1回設定・実施する。

年度目標

- 授業日において、児童の8割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。

(R6・・・45.9%)

- 第2期「学校園における働き方推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を84%以上にする。

(R6・・・83%)

3. 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立横堤小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>●学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。 (R6・・・72.6%)</p> <p>●年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 (R6・・・9/559 1.61%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取り組み内容① 【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「いじめについて考える日」に自分や他者を大切にすることについての学習を行う。 学期に 1 度いじめアンケートを行い、早期発見・再発防止に努める。また、アンケート実施時に、仲間づくりやいじめについて考える機会を設ける。 友達を大切にする気持ちを育むための取り組みを道徳科だけでなく、特別活動等でも設定する。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 校内アンケート（1・2年生）と学力経年調査（3～6年生）における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。 	
<p>取り組み内容② 【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期的に保護者と連絡をとり、必要に応じて家庭訪問を行う。また、関係諸機関との連携を行う。 児童の気持ちの変化を把握するために「心の天気」を活用する。 児童の様子について、教職員間で密に情報共有を行う。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
後半への改善点	

大阪市立横堤小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り開く学力・体力の向上】</p> <p>●学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を38%以上にする。(R6・・・37.5%)</p> <p>●学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を79%以上にする。(R6・・・77.9%)</p> <p>●学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を62%以上にする。(R6・・・61.0%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取り組み内容① 【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「主体的・対話的で深い学び」を進めるために、授業の中で考えを広げたり、深めたりする話し合いの場を設ける。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を38%以上にする。 	
<p>取り組み内容② 【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝や昼のモジュールの時間、給食の時間などに外国語（英語）の歌を聴く機会を設ける。 集会で、外国語（英語）を使ったゲームをする。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を79%以上にする。(R6・・・77.9%) 	
<p>取り組み内容③ 【基本的な方向 5 健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動やスポーツに親しむことができるよう指導法を工夫する。 年間を通して「横堤グランドスラムチャレンジカード」を活用し、体育科の学習や外遊びに対する意欲を高める。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を62%以上にする。(R6・・・61.0%) 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

後半への改善点

大阪市立横堤小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実</p> <p>●授業日において、児童の 8 割以上が学習者端末を活用した日数を、年間授業日の 50% 以上にする。 (R6・・・45.9%)</p> <p>●第 2 期「学校園における働き方推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 1 を満たす教職員の割合を 84% 以上にする。 (R6・・・83%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取り組み内容① 【基本的な方向 6 教育 DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表ノート・心の天気等を使い、全児童が 1 日 1 回以上学習者端末を活用する。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業日において、児童の 8 割以上が学習者端末を活用した日数を、年間授業日の 50% 以上にする。 	
<p>取り組み内容② 【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆとりの日を週に 1 回設定・実施し、午後 5 時の退勤を目指す。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
後半への改善点	